

(法第 28 条第 1 項関係様式例)

2020年度事業報告書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

特定非営利活動法人コミュニティねっとわーく高島

1 事業の成果

別添事業報告書のとおり

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
① 市民活動、地域コミュニティ支援のための情報収集、提供に関する事業	情報誌おむすび・たかしま 年4回発行・インターネット、SNSによる情報発信	通年	市内	2名	高島市民	2,042
② 市民活動、地域コミュニティ支援のための相談、コンサルティング、資金調達、人材育成に関する事業	相談支援・地域自治課題解決支援	通年	市内	3名	高島市民	1,605
	生活支援コーディネート	通年	市内	1名	高島市民	2,314
③ 市民活動、地域コミュニティ支援のための交流、ネットワーク促進に関する事業	協働交流	10-3月	市内	3名	高島市民	752
	たかしまの森へ行こうプロジェクト	通年	くつきの森	2名	高島市民	164

④ 市民活動、地域コミュニティ支援のためのマネジメントに関する事業	当該年度は実施なし					
⑤ 協働推進のためのコーディネート事業	協働提案	通年	市内	2名	高島市民	300
⑥ コミュニティビジネス等の育成・支援に関する事業	当該年度は実施なし					
⑦ 市民活動、地域コミュニティの参加と協働等に関する調査研究事業・政策提案	高島市まちづくり推進会議	通年	市内	2名	高島市民	3,074
⑧ 指定管理者制度等による公共施設の管理運営に関する事業	今津東コミュニティセンター管理運営	通年	市内	5名	高島市民	13,360
⑨ その他のこの法人の目的を達成するために必要な事業	当該年度は実施なし					

令和2年度(2020年度)
NPO 法人コミュニティネットワーク高島
事業報告書

令和3年(2021年)3月31日

高島市今津町中沼 一丁目4-1
NPO 法人コミュニティネットワーク高島

目次

I 理事会・総会など

II たかしま市民協働交流センター

1. 情報発信集積事業

- (1) 情報誌「おむすび・たかしま」の発行
- (2) 市民活動団体情報の集積
- (3) WEB 情報発信

2. 相談支援事業

- (1) 相談件数
- (2) コピー・大判プリント等対応記録

3. 協働提案事業

4. 高島市まちづくり推進会議

5. 地域自治課題解決支援事業

- (1) 区・自治会への地域課題・ニーズヒアリング調査
- (2) まちづくり講演会「まちづくりは参加するからおもしろい！」
- (3) 地域自治協議会準備会に関して

6. 協働交流事業

- (1) 団体ヒアリング
- (2) 情報交換会
- (3) 活動紹介動画作成

7. 研修等参加記録

- (1) 研修参加記録
- (2) 外部委員会等参加記録
- (3) その他

8. 生活支援コーディネーター

9. たかしまの森へ行こう！プロジェクト

III 今津東コミュニティセンター

1. 施設利用状況

2. ロビー展示他

3. 自主事業

I. 理事会・総会など

(1) 会員数・会議記録

<目標>

法人として事業を実施する最初の年となるが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、人が集まり難い状況の中、高島市が地域自治協議会設立に向けて動き出す年にふさわしい総会講演会の企画をめざした。まちづくりへ参加するおもしろさを伝える機会として、大阪ボランティア協会 理事長 早瀬 昇氏を講師に招き、協賛金を集め、できるだけ多くの市民が参加できる開催をめざした。

<成果>

総会講演会は、感染症拡大が一時落ち着いた7月に開催することができた。高島市がめざす自治に関する説明会を同時開催した。多くの市民に、まちづくりへの参加のおもしろさについて伝えることができた。

理事会は、感染症対策をしながら、4回開催することができた。11月に自治協議会準備会に関する勉強会を、理事と会員対象に開催し、市がめざす地域自治組織づくりにおいて、中間支援組織の役割を考える機会を持った。

会員数

正会員 15名、賛助会員 5名（団体、個人）（2020年6月）

第1回 4月28日（火）18:00～19:30

たかしま市民協働交流センター事務所

出席者 4名、書面表決者 3名、欠席者 2名

- ・令和2年度(2020年度)事業計画(案)
- ・令和2年度(2020年度)予算(案)

第2回 6月13日（土）13:15～14:00

今津東コミュニティセンター 中会議室

出席者 7名、委任状 2名

- ・理事の選出と代表理事の互選について

総会 6月13日（土）14:00～16:00

今津東コミュニティセンター 中会議室

出席者 9名、委任状 3名、書面表決者 1名、欠席者 3名

- ・令和元年度事業報告について
- ・令和元年度決算報告について
- ・監事選出について
- ・理事について報告
- ・令和2年度事業計画について報告
- ・令和2年度予算について報告



総会講演会 7月12日(日) 14:00~15:30

今津東コミュニティセンター 3階ホール

① 市民主体のまちづくりのために～高島市「地域自治協議会」説明会
市民協働課

② 「まちづくりは参加するからおもしろい！」

講師：早瀬 昇氏（社会福祉法人大阪ボランティア協会 理事長）

協賛者：20名

参加者：63名

※詳細については、Ⅱ章5. 地域自治課題解決支援事業（2）まちづくり講演会を参照ください。

第3回 8月26日(水) 19:30~21:30

今津東コミュニティセンター 中会議室

出席者6名、委任状1名、欠席者2名

- ・令和2年度事業進捗について報告
- ・9月以降の事業の進め方について

高島市の地域自治組織に関する勉強会（理事、会員対象）

11月4日(水) 19:30~21:30

今津東コミュニティセンター 中会議室

参加者13名

- ・地域自治協議会設立支援 地域担当職員研修①DVDより
- ・質疑応答

第4回 2021年1月20日(水) 19:30~21:30

今津東コミュニティセンター 中会議室

出席者5名、委任状1名、欠席者2名

- ・令和2年度事業進捗について報告
- ・1月~3月の事業について
- ・令和3年度事業について



Ⅱ. たかしま市民協働交流センター事業

1. 情報発信集積事業

(1) 情報誌「おむすび・たかしま」の発行

<目標>

市内の市民活動団体や地域貢献に意識の高い事業者や企業取材し、市民に向けて情報提供することにより、市民の市民活動への意識を高め、また団体や組織が紙面をとおしてつながることを目的に作成・配布した。

- ・「伝言板」は発行して2年目であり、新たな掲載団体の増加をめざした。
- ・新たな情報誌設置店や施設を開拓をめざした。

<成果>

当初の計画通り年4回発行し、配布を行った。伝言板については、4月から9月頃にかけて、新型コロナウイルス感染症への対応のため活動を控えていた団体等が多く、イベント情報が集まらなかったため、東コミセンを利用する団体に伝言板の紹介と掲載の働きかけを行った。その結果、市内のNPO法人、市民団体、ボランティアグループ等、計18団体延べ35件のイベント等の情報を掲載し、発信することができた。

(前年度比 1団体減/新規 13団体増、9件増)

配布先については、新たに市内の協力店等3か所を増やすことができたが、感染症対応によりチラシ配置を取り止める事業所が出できた。引き続き配置場所の拡大を図るとともに、公式ホームページからダウンロードし読んでいただけることについても周知を強化していきたい。

<課題>

情報誌の本誌については、全戸配布されているが、どれくらい読まれているのかが分からない状況がある。読者の反応を受ける工夫が必要だろう。伝言板については、イベント掲載団体に、参加者が何を見て参加されたのか集計している団体には情報を寄せてもらえるように声をかけたい。

① 発行・配布実績

発行部数：各回とも18,000部

配布先：市内全戸、市内公共施設、市内金融機関（銀行、JA、郵便局）、市内小中学校、市内観光施設、JR 駅構内観光案内所、市内設置協力施設および企業・店舗、滋賀県内各市民活動支援センター等

② 紙面構成

○本誌（A4 仕上げ4ページ）

1ページ(表紙) 当センターの事業紹介

2ページ 「はっけん！きらっと市民活動 in たかしま」
市民活動団体の紹介 2団体

3 ページ 「高島の元気企業」地域貢献に意識の高い事業者取材し、経営理念や地域への想いを聞く

「市民活動質問箱」市民活動に関する疑問・質問に関する情報提供

4 ページ(裏表紙) 当センター事業告知、広告

○イベント告知「おむすび・たかしま伝言板」(A4 両面 2 ページ)

市民活動団体、ボランティアグループ等のメンバー募集やイベント案内を掲載。

◆47号 7月1日発行

1. 表紙：もったいないを笑顔と絆に

フードバンクびわ湖と高島市が協働で取り組み中！

2. 市内活動団体紹介<2団体> (はっけん！きらっと市民活動 in 高島)：

・大師山ボランティアサークル ・NPO 法人じゃがいもの家

3. 市民活動質問箱：グループ活動をインターネットを活用して行うために

4. 高島の元気企業：有限会社ほんだ建築

5. インフォメーション

・新しい大判プリンターをぜひご利用ください！

・「まちづくりは参加するから面白い」講演会日程変更のお知らせ

・今津東コミュニティセンター1階展示スペース イベントのご案内

・NPO 法人コミュニティねっとわーく高島 会員募集中！

6. 広告<2件>：近江ぶりん、楽農舎なごみの里観光農園

7. おむすび・たかしま伝言板(別紙) 市民活動情報 計6件

① FEC 自給圏ネットワーク②たかしま森林セラピー③フードバンクびわ湖④わら細工同好会⑤たかしまおもちゃ病院⑥NPO 法人麻生里山センター(森林公園くつきの森)
／その他：今津東コミュニティセンター みんなの本棚紹介

◆48号 10月1日発行

1. 表紙：高島市でのこれからの暮らしと移動について

～第3期 高島市まちづくり推進会議より～

2. 市内活動団体紹介<2団体> (はっけん！きらっと市民活動 in 高島)：

・日本よし笛の会

・NPO 法人 Independence Boardwark org Japan 846 (IBO.Japan846)

3. 市民活動質問箱：市民協働の事例紹介

4. 高島の元気企業：株式会社才川食品店

5. インフォメーション

・今津東コミュニティセンター 1階展示スペースのご案内

・シニアのための初めてのスマホ講座

6. 広告<2件>：有限会社綿庄食品店、還元陶板浴 虎杖伝説の里 ふじと

7. おむすび・たかしま伝言板(別紙) 市民活動情報 計5件

①藤樹俳句吟行会②湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部③手ではなそう④高島市の図書館を考える会⑤NPO 法人麻生里山センター(森林公園くつきの森)／その他:高島市環境政策課 フードドライブ実施

◆49号 2021年1月1日発行

1. 表紙:「たかしま市民活動情報交換会」を開催しました
2. 市内活動団体紹介<2団体>(はっけん!きらっと市民活動 in 高島)
 - ・一般社団法人 いまづジョイナスクラブ
 - ・放鳥's
3. 市民活動質問箱:市民活動情報交換会 分科会(1)、(3)の内容紹介
 - ・イベント、活動への参加者を増やすにはどうしたらいい?
 - ・寄付、寄贈などを集めるにはどうしたらいい?
4. 高島の元気企業:Granstream (グランストリーム)
5. インフォメーション
 - ・市民活動団体の活動紹介動画 公開中!
 - ・たかしまの森へ行こう!プロジェクト便り
 - ・シニアのための簡単スマホ相談会
 - ・今津東コミュニティセンター 1階展示スペース イベントのご案内
6. 広告<2件>:有限会社松田自動車、カーサ・ルージュ
7. おむすび・たかしま伝言板(別紙) 市民活動情報 計9件
 - ①マキノメンテナンス②オカリナのんのん③フードバンクびわ湖たかしま④たすけあい高島⑤高島市の図書館を考える会⑥大師山ボランティアサークル⑦トゥインクルスターズ⑧湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部⑨NPO 法人麻生里山センター(森林公園くつきの森)

◆50号 4月1日発行

1. 表紙:10年先の持続可能なまちづくりをめざして「結び」のきっかけづくり
2. 市内活動団体紹介<2団体>(はっけん!きらっと市民活動 in 高島):
 - ・高島市母子福祉のぞみ会
 - ・NPO 法人 風の会
3. 市民活動質問箱:市民活動情報交換会 分科会(2)の内容紹介
 - ・参加者を主体的に関わる人にするためにはどうしたらいい?
4. 高島の元気企業:休載し、50号発行寄稿を掲載
たかしま市民協働交流センター受託運営者から読者の皆さまへのメッセージ
「情報誌第50号の発行に寄せて」
NPO 法人コミュニティねっとわーく高島 代表理事 谷口浩志
5. インフォメーション
 - ・シニアのためのスマホ相談会 継続していきます!
 - ・認知症サポーター養成講座
 - ・情報誌のバックナンバー お読みいただけます!

・今津東コミュニティセンター1階展示スペース イベントのご案内

6. 広告<1件>：ときわの森動物病院（1枠は広告募集掲載）

7. おむすび・たかしま伝言板（別紙） 市民活動情報 計10件

- ①たかしま森林セラピー②NPO 法人麻生里山センター(森林公園くつきの森)③たかしまおもちゃ病院④高島市の図書館を考える会⑤湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部⑥NPO 法人絵本による街づくりの会⑦らくらくピアノサークル⑧針江よし笛の会⑨安曇川・男の料理クラブ⑩美化活動はなのみち

47号

48号

49号

50号



47号伝言板

48号伝言板

49号伝言板

50号伝言板



たかしま市民協働交流センターホームページ 情報誌ページ

<http://tkkc.takashima-shiga.jp/report.html>



(2) 市民活動団体情報の集積

当センターホームページ上で市民活動団体およびボランティアグループ等を15のカテゴリーに分類し、各団体の連絡先、活動内容を集め、掲載した。ネット上での掲載により団体の広報支援にもなった。また、団体に関する問い合わせ等への対応にも活用しやすくなった。

カテゴリー：15 掲載団体数：99（対前年比 8団体増）

（子育て支援：7、子どもの体験：10、学童保育：5、青年：2、女性支援：1、文化・歴史：21、災害：3、福祉・保健：22、ボランティア：3、環境・自然：16、移住促進：1、国際：0、まちづくり：3、地域づくり：4、政策提言：1）

(3) WEB 情報発信

<目標>

ホームページでは、当センターの活動についての理解を広める目的で、基本情報、利用案内、事業報告と決算、情報誌のバックナンバーなどを掲載している。

ブログでは、市民活動団体のイベント情報、市民活動団体に向けての研修や助成金情報をタイムリーに掲載し、同時にフェイスブックで拡散。月2回のメルマガで登録者へ発信している。

- ・メルマガ登録者数の増加をめざした。
- ・助成金情報などは相談事業への活用をめざした。

<成果>

今年度は、市民活動団体一覧のカテゴリーが増え、団体数も増加した。「おむすび・たかしま」伝言板をホームページで掲載し、各団体のイベント等の広報を支援することができた。

ブログに掲載した助成金情報から助成金申請への相談対応にもつながった。

また、市民活動団体の広報支援の一つとして、市民団体の紹介動画を作成し、YouTube上で公開し、ホームページ上で活動紹介動画のページを作成した。

(動画作成団体)

- ・NPO 法人子育て・子育てサポートきらきらクラブ
- ・ヴォーリス今津郵便局の会
- ・高島市の図書館を考える会
- ・NPO 法人絵本による街づくりの会
- ・NPO 法人リパティ・ウイメンズハウス・おりーぶ
- ・フードバンクびわ湖たかしま

※動画作成の経緯については、6. 協働交流事業(3) 活動紹介動画作成をご覧ください。

ブログ掲載内容はフェイスブック等でも同時に発信し、常にリーチ数が50～100件あり、市民活動等の関心層に拡散することができた。

① ホームページ：<http://tkkc.takashima-shiga.jp/>

事業報告、利用案内、情報誌「おむすび・たかしま」バックナンバー、市内の市民活動団体一覧などを掲載した。



② ブログ：<http://tkkc.shiga-saku.net/>

当センターからのお知らせ、助成金情報、市内外の市民活動団体の講座やイベント、市民活動に役立つ行政や企業によるイベントなどを掲載した。

特に今年度は新型コロナウイルス感染症対応に関連・特化した情報をより多く入手、配信できるように留意した。



<2020年度 掲載実績>

センターからのお知らせ	21件	
助成金情報	169件	(うち新型コロナウイルス感染症関連 17件)
高島市の市民活動情報	50件	(うち新型コロナウイルス感染症関連 2件)
滋賀県・全国の市民活動情報	37件	(うち新型コロナウイルス感染症関連 5件)
ボランティア募集情報	1件	
行政、企業からのお知らせ	32件	(うち新型コロナウイルス感染症関連 5件)
たかしまの森へ行こう！関連	22件	(うち新型コロナウイルス感染症関連 5件)
イベントレポート	3件	
その他	4件	(うち新型コロナウイルス感染症関連 4件)
計	339件	※ 対前年度 28件 増



③ フェイスブック：<https://www.facebook.com/takashimashiminkyodo/>

主にブログに掲載した情報の拡散に活用するとともに、高島市内の市民団体のフェイスブックの記事のシェアを行ない、情報発信の支援を行なった。



- ④ ツイッター：<https://twitter.com/koryusenta>
ブログに掲載した情報の拡散に活用した。



⑤ メールマガジン

受信登録件数 166件（2020年3月末現在） ※ 対前年度 7件 増

発行回数 24回（月2回発行）

内 容 当センターのイベントや講座紹介、市民活動団体のイベントや講座、助成金、ボランティア募集、行政等による市民活動団体向け講座やイベント情報など、ブログ掲載記事を集約して発信した。

2. 相談支援事業

<目標>

- ・市民活動団体、ボランティアグループ、地縁組織、事業者など多様な組織からの相談に対応していく。
- ・任意団体が法人格を検討される場合、多様な選択肢を分かりやすく提示できる。
- ・他団体や個人の紹介などを通して、相談者のネットワークを広げる機会を増やす。
- ・助成金や表彰事業などを活用し、資金支援を行う。
- ・協働提案事業への提案が可能な団体を支援し、協働提案へつなげる。

<成果>

感染症拡大のため活動を制限している団体が多い中ではあったが、多様な団体からの相談に対応することができた。自治課題解決支援事業で行ったヒアリング後、解決に向けて継続的に相談対応する地区が3地区あった。

継続的に相談対応している団体の会則づくりを支援し、協働提案事業への提案へつなげた。助成金申請の支援でも助成金獲得された団体が3団体あった。また、「ふるさとづくり大賞」へ1団体、「おうみ社会貢献賞」へ1団体を推薦し、両団体とも表彰された。

任意団体が法人取得について相談に来られ、NPO法人、一般法人、会社、労働者協同組合など特徴を示しながら説明することができた。

(1) 相談件数 94 件 (99 時間)

	相談内容	件数	時間数
1	NPO 法人・NPO 設立	5	4
2	NPO 法人・NPO 解散	0	0
3	コーディネート（団体等へのマッチング・紹介）	38	40
4	資金（助成金・寄付）	9	10.5
5	実務（経理、税理、労務など）	3	2.5
6	協働（協働提案事業関連含む）	5	7
7	事業計画	7	7
8	情報発信	7	6.5
9	組織運営（規約、会計、会議運営など）	5	8
10	センターの活動について	6	4
11	その他	9	9.5

相談組織

	組織	のべ件数
1	NPO 法人	9
2	任意団体	44
3	地縁組織	3
4	財団法人・社団法人	7
5	社会福祉法人	8
6	営利事業者	7
7	公的機関	9
8	教育機関	2
9	その他	3
10	個人	2

○継続相談について

① フードバンクびわ湖たかしま 13回

団体としての基盤を作るため、会則やパンフレットづくりを支援した。フードバンク活動の安定的な継続には、市役所や市社会福祉協議会との連携が必須であり、協働提案事業への提案を勧め、採択された。情報誌おむすび・たかしま 47号表紙でも、多くの団体との協働事例として紹介した。活動を継続できる組織づくり、資金調達など今後も支援していきたい。

② 美化活動はなのみち 8回

代表者が90歳を越え、メンバーや地域での役割分担を進めてきた。苗づくりが課題であり、2年前から新旭養護学校の花苗を分けていただいていたが、放課後等デイサービス第一アップルの駐車場で苗作りを協力したいとの話があり、コーディネートした。継続的な関係性になるよう支援していきたい。メンバーの人数は出入りがあるが横ばい。代表者は活動を受け継ぐ人を探しているが、花づくりに関して代表者のみが作業時期を決めている。メンバーで一年間の活動記録を付け、スケジュールを誰でも理解できるようにすることで、活動を継続できる体制づくりをめざして支援したい。

③ 朽木中学校 3年生「朽木の未来を考える授業」 3回

3年生の総合的な学習のまとめとして、故郷である朽木について地域の価値や未来を考える機会を持つ授業を実施して3年目となる。今回は3年生の特性と感染症対策もあり、地域の方、保護者、卒業生の参加は呼びかけず、3年生担任とファシリテーターである当センターおよび研究者で授業を行った。テーマは「朽木らしい大人」を見つけ、「朽木らしさを考える」として実施した。次年度には、中学生の考える朽木らしさ（朽木の価値）を地域の文化祭や自治協議会準備会などへ伝える予定。

○表彰の推薦など

- ① 滋賀県からの照会で、総務省「ふるさとづくり大賞」へ下記団体を推薦したところ、団体表彰を受賞された。

ふるさとづくり大賞 団体表彰 結いの里・椋川

- ② 公益財団法人滋賀県市町村振興協会から、おうみ社会貢献賞への団体推薦に関して照会があり、下記団体を推薦したところ受賞された。

第9回おうみ社会貢献賞 大師山ボランティアサークル

(2) コピー・大判プリント等対応記録

① コピー・大判プリントの対応 174件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
6	7	12	12	16	15	22	17	13	12	22	20

- ② 機材貸出 12件（プロジェクターの貸出 12件、ビデオカメラの貸出 0件）

3. 協働提案事業

<目標>

過去2年間、協働提案事業の採択実績が無い中で、協働提案につながる活動団体の発掘と提案申請を支援し、1件以上の提案申請と採択をめざす。

<成果>

継続的に相談対応している団体に、協働提案事業について説明し、提案申請を支援することができ、採択された。また、行政提案事業に関して、事前に担当課から事業内容などを聞き取り、協働の可能性のある市民活動団体に相談することができ、採択につながった。4件の協働提案事業が採択された。

<課題>

協働提案事業については市民の認知度が低い。次年度は情報誌やウェブを使い、協働提案事業の活動を紹介していきたい。

(1) 行政提案事に関する事前ヒアリング

行政提案事業に関して、パートナーとなる団体に関する情報、役割の整理などについて打ち合わせた。

① 消防本部予防課からの提案

9月14日、17日

② 市民協働課からの提案

9月14日

(2) 応募説明会

市主催の応募説明会では、参加者の質問に対して事例などから説明した。
10月14日、18日

(3) 事前相談

フードバンクびわ湖たかしま、環境政策課

10月26日、11月24日

一般社団法人おおばこクラブ、地域包括支援課、長寿介護課、財産管理課

11月17日、11月24日

しずさと紡ぐ会、地域包括支援課、社会福祉課、子育て支援課

11月17日、11月24日

12月7日(提案書の記載内容について相談)

たかしま災害ボランティアネットワーク「なます」、消防署予防課

11月18日

大溝の水辺景観まちづくり協議会、市民協働課、文化財課

11月20日

(4) 審査会

プレゼンテーション(5団体)、担当課ヒアリング、選考会において、アドバイザーとして参加した。

12月16日(水)10:30~15:30 市役所

(5) 採択団体と担当課の詳細協議

新年度からスムーズに事業を始めることができるよう、目標、互いの役割、スケジュールなどを再度確認する機会において、ファシリテーターとして参加した。

① 保育園における防災・避難訓練時の消防署と協働した園児への防災教育サポート

行政提案担当課：消防署予防課

パートナー団体：たかしま災害支援ボランティアネットワーク「なまず」

3月16日

② 食品ロス削減プロジェクト

提案団体：フードバンクびわ湖たかしま

担当課：環境政策課

3月25日

③ 安心な移住定住への橋渡し役を担う「関係案内所 potopoto」整備事業

行政提案担当課：市民協働課

パートナー団体：大溝の水辺景観まちづくり協議会

3月26日

4. 高島市まちづくり推進会議事業

<目標>

市民が市の課題について現状を把握し、持続可能な将来社会に向けて、市民のあり方や行政の取り組み、市民と行政が協働で取り組むべきことなどについて、市民の目線で検討し、根拠ある提案ができることを目指して実施している。

第3期の最終年であり、1年目をふりかえり、2年目の目標を立て、実効性のある提案へつなげることをめざした。

両グループとも1年目の終盤に参加率の低下が見られたが、参加人数を増やし、2年目に各委員がしたいことを実行できるように進めることをめざした。

<成果>

感染症対策のため、4月～5月は会議開催を中断することになり、オンラインでの会議開催も検討したが、委員の希望により6月から感染症対策をした上で会議を再開した。

バス交通グループは、バス交通に関する課題構造を整理し、バスの価値に気づくことができた。さらに、委員自身が理解できたバスの課題や価値について、バスに関心が低い多くの市民に伝えるためのツールを考えることを目標として、バスに関するゲームづくりを提案することができた。

地域行事グループは、会議やワークを重ねる中で、委員の体験などから2年目の活動目標を定めることができた。しかし、目標に賛同できない委員1名が以降の会議への参加をされないと表明され、話し合いを重ねたが参加されなくなった。他の委員は目標を定め、子育て世代にターゲットを絞り、地域と子ども連れ家族をつなぐ提案をすることができた。

<課題>

提案された取り組みについて、まずは市としての対応を確認し、今後、実現の可能性を探る。第4期では、企画を実践までつなげ、実践をとおして提案をまとめるプログラムをめざすことが必要だろう。

(1) 運営メンバー

事務局

たかしま市民協働交流センター、高島市市民協働課

研究者チーム

木村道徳（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 主任研究員）（以下「琵琶研」）

熊澤輝一（総合地球環境学研究所 准教授）

王 智弘（龍谷大学 非常勤講師）

小野 聡（千葉商科大学商経学部 専任講師）

運営会議記録

日程	場所	内容
4月24日	Zoom	1年目のふりかえりと今後の進め方について
5月22日	Zoom	各グループの2年目のスケジュールについて
6月15日	Zoom	地域行儀グループのテーマについて整理 バス交通グループの目標について
7月9日	琵琶研	バス交通グループ第10回会議の内容について 地域行事グループ第14回会議の内容について
7月20日	Zoom	地域行事グループの進め方について
8月6日	Zoom	バス交通グループのシュミレーションモデルについて
9月15日	琵琶研	各グループ会議のふりかえりと進め方について 全体会議について
10月8日	Zoom	各グループ会議のふりかえりと進め方について
11月6日	Zoom	各グループ会議のふりかえりと進め方について
12月10日	Zoom	全体会議について
3月4日	Zoom	成果報告会について

(2) 全体会議の記録

<第3回全体会議>

12月18日(金) 19:00~21:00 市役所

内容 各グループの活動発表

参加者からの評価と質疑応答

参加人数 委員7名、市民協働のまちづくり推進本部員11名、関係課2名

※感染症対策のため一般公開せずに開催した。

<意見交換>

2021年2月4日(木) 19:00~21:00 市役所

内容 第3回全体会議の意見を受けて、グループ間での意見交換

参加人数 委員7名

<座談会>

2月23日 19:00~21:00 wacca (わっか)

内容 第3期まちづくり推進会議をふりかえって

参加人数 委員5名

<第4回 成果報告会>

3月14日 14:00~16:00 市役所

内容 成果報告、質疑応答

グループで対話「第3期をふりかえり、第4期に向けてのアイデア出し」

参加人数 委員9名、市民協働のまちづくり推進本部員15名、一般参加9名



(3) グループ会議の記録

＜バス交通グループ会議：7名＞ テーマ「市内のバス交通のあり方」

第9回	6月25日 1年目のふりかえり、2年目のスケジュール	委員 4名 都市政策課 1名
第10回	7月30日 10年後のバス交通のあり方を考える	委員 2名 都市政策課 1名
第11回	9月25日 なぜバスについて市民が議論する必要がある？	委員 4名 推進本部員 1名
第12回	10月15日 バスの現状、課題を市民に伝えるために	委員 3名 推進本部員 2名
第13回	10月26日 バスの現状を誰に伝え、どんな行動を起こしたい？	委員 3名 推進本部員 3名
第14回	11月13日 市民に伝えるバスの現状と課題の整理	委員 4名 都市政策課 2名
第15回	11月24日 市民に伝えるバスの現状と課題の整理	委員 2名 推進本部員 2名
第16回	12月4日 市民に伝えるバスの現状と課題まとめ	委員 2名
第17回	12月14日 全体会議発表準備	委員 4名
第18回	2021年1月12日 市民に伝えるためのコンテンツを作る	委員 4名 推進本部員 2名
	1月24日 ゲーム体験会	委員家族など17名
第19回	1月26日 ゲームを通してバスの何を伝えたいか	委員 2名 推進本部員 2名
第20回	2月8日 報告書作成作業	委員 2名
第21回	2月15日 報告書作成作業	委員 2名
第22回	2月24日 報告書作成作業	委員 2名
第23回	3月4日 報告書作成作業	委員 4名
第24回	3月9日 報告会発表準備	委員 2名



1月24日ゲーム体験会



バス交通グループ会議

<地域行事グループ会議：7名→6名>

テーマ「地域とのつながりを生み出すための地域行事」

第11回	6月26日 1年目ふりかえり、2年目の進め方	委員 7名
第12回	7月4日 1年目ふりかえり、2年目の活動について	委員 6名
第13回	7月7日 2年目の活動の目的整理	委員 6名
第14回	7月21日 カレンダーとマニュアルづくりについて	委員 7名
第15回	8月4日 課題と活動、疑問点の整理	委員 7名 推進本部員 2名
第16回	9月1日 活動への意見と会議の進め方について	委員 3名
第17回	9月24日 カレンダーづくりワーク	委員 5名
第18回	10月8日 カレンダーづくりワークのふりかえり	委員 6名 推進本部員 2名
第19回	10月27日 カレンダーづくりの課題整理	委員 5名 推進本部員 3名
第20回	12月3日 若い世代への情報発信とターゲット整理	委員 4名 見学者 1名
第21回	12月10日 子育て世代に伝えるコンテンツを考える	委員 5名
第22回	12月22日 全体会議ふりかえり、グループの目標確認	委員 4名
第23回	2021年1月14日 子育て支援部局、団体との意見交換	委員 5名 子育て支援課 1名 結びと育ちの応援団 2名
第24回	1月26日 子連れ応援マーク運用ルールなど	委員 6名 推進本部員 3名
第25回	2月9日 報告書作成、将来のねがいについて	委員 4名 推進本部員 1名
第26回	2月16日 報告書作成作業	委員 4名
第27回	2月25日 報告書作成作業	委員 4名
第28回	3月6日 報告書作成作業	委員 2名
第29回	3月9日 報告会発表準備	委員 6名



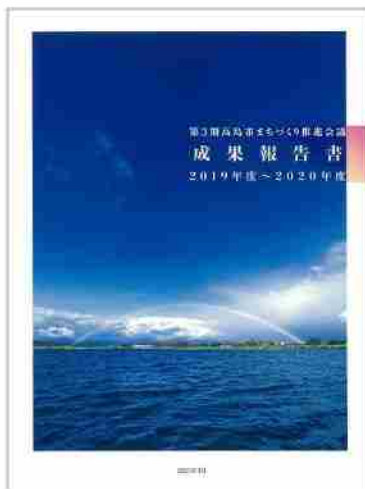
地域行事グループ カレンダー作り



地域行事グループ会議

(3) 成果報告書

成果報告会で発表した各グループの提案を、市民および行政に伝えることを目的に成果報告書をまとめた。



発行部数 300部



成果報告会(3月14日)



成果報告会(3月14日)

5. 地域自治課題解決支援事業

<目標>

昨年に引き続き、区・自治会の役員などへヒアリングを行い、地域の課題の解決を支援する。また、地域自治協議会への市民の理解を広めることをめざした。

- ・12の区・自治会の区長および役員などへ、地区の課題、気になることをヒアリングし、解決への道筋などを整理し、各区・自治会の解決力を高める。
- ・上記ヒアリングでは、区長連絡会や地域自治協議会準備会について、目的や機能を説明し、それぞれに関する認識や期待を聞き取り、市民協働課や支所担当者へ伝える。
- ・まちづくり講演会では、地域自治協議会の設立に向けて、市民が主体者としてまちづくりに参加するおもしろさについて情報提供し、市民の理解を広めることをめざした。

<成果>

- ・朽木地域以外の13の区・自治会にヒアリングすることができた。
ヒアリングによって、地区の課題を整理する機会となり、取り組めることからしてみようという意識につながり、小さくとも具体的な解決に向けて動き出す地区が3区あった。今後、他の地区についてもヒアリング後の動きを確認していきたい。
- ・区長連絡会については、他地区の防災への取り組み、獣害に関してなど、議題に上げたいテーマが出され、期待されていることが分かった。地域自治協議会に関しては、区・自治会など近隣ですべきことと、広域で取り組む組織との役割の違いなどを説明しながら聞き取りをした。誰が運営するのか、区長はこれ以上の役割を担えない、という警戒感が出ていた。これまで自治は小さな範囲で、入区している者により運営されてきた。広域で自主的な組織のイメージを持つことが難しいようだ。
- ・まちづくり講演会では、感染症対策として参加者数を会場の半分に抑えて開催した。20代～70代の幅広い世代が参加し、関心の高さが見られた。参加者には、ボランティアなどへ参加を促すヒントを得ていただくことができた。

<課題>

地域自治協議会準備会に関して、ほとんどの区・自治会役員、住民が知らない状況であり、少しずつ関心を集める機会を作っていく必要性を感じている。

(1) 区・自治会への地域課題・ニーズヒアリング調査

○調査地に関する相談

各支所のまちづくり担当者の連絡会において、「区・自治会への地域課題・ニーズ聞き取り調査」の目的について説明し、ヒアリング対象としたい地区について意見を聞いた。

8月6日 市役所

後日、高島市社会福祉協議会地域福祉課へ、ヒアリング対象地域のリストを送り、意見を聞いた。

○ヒアリング対象および内容

対象者 区・自治会役員、福祉推進員、民生員など

協力 各支所まちづくり担当者、高島市社会福祉協議会地域担当者

内容 ①地区の住民と共有したい課題、役員会などでよく話題になっている課題

②区長連絡会で相談したい、提示したい話題など

③中学校域で取り組む活動について（広域で取り組むべきこと）

配布資料 高島市地域コミュニティ推進指針(6～9頁)、集落座談会チラシ

○ヒアリング実施記録

	月日	調査地区	対象者
1	9月10日	マキノ地域 在原区	区長
2	9月10日	マキノ地域 小荒路区	区長、代理区長
3	9月30日	マキノ地域 グリーンレイク町内会	会長、副会長、事務局、防災担当、環境担当、福祉担当
4	10月12日	今津地域 西区	区長、代理区長、総務、防災リーダー
5	10月15日	今津地域 西深清水区	区長、会計、建築・倒木・草刈業者連絡担当
6	10月22日	今津地域 望みの郷自治会	会長
7	11月11日	新旭地域 針江区	区長
8	11月18日	新旭地域 北畑区	区長、副区長、民生員
9	12月10日	高島地域 榊自治会	会長
10	12月11日	安曇川地域 横江浜区	区長
11	12月11日	安曇川地域 北船木区	区長、副区長
12	2021年 1月18日	今津地域 保坂区	区長、代理区長・会計、役員
13	2月8日	今津地域 棕川区	区長、代理区長、民生員

○主な課題など

<最も多く出た課題>

避難所、防災訓練、防災組織に関すること	8地区	防災訓練ができていない 避難所が無い 自主防災組織が無い
---------------------	-----	------------------------------------

<人口減少と高齢化が進む地区の課題>

見守り活動と認知症かなと感じる住民への対応	4地区	気になってもどう対応していいのかわからない。徘徊する人もいる。近隣で見守れるようにしたい。
地区内の草刈、川整備の人手不足	2地区	範囲が広く、機械を使っているが……。高齢化でいつまでできるか。
空き家の増加と管理	3地区	増えてきている。知らないうちに売却されて、知らない住民が来ると困る。活用したい。
役員をする人の不足	1地区	高齢化のため。
高齢住民の移動が問題	1地区	高齢化のため

<宅造地・山間地の課題>

危険な樹木、周辺山林の整備不足	4地区	地主が管理しない。倒木が心配
-----------------	-----	----------------

獣害	4地区	対応が難しい
太陽光発電施設設置の計画	2地区	地区の近くに設置計画があり公害が不安
道路整備、水道、管理会社との問題	2地区	維持費を住民で負担。管理会社との交渉が大変。
除雪	2地区	高齢化のため

<運営に関する課題>

市への提出書類作成がたいへん	2地区	パソコンを使える人は楽なのだろうが…
入区していない住民への対応	3地区	高齢者が気になる。接点が無い。

<その他>

移住者を受け入れる気持ち、体制づくりをしたい	1地区	地区住民に移住者への警戒感がある
子どもも高齢者も交流できるようにしたい	1地区	子どもと高齢者の会う機会が無い
役員会を積極的にしたい、組織に若者や女性も参加してほしい	2地区	区の運営に若い人、女性も関わってほしいが…

○ヒアリング後の具体的な活動

- ① 20歳以上の区民に一人1票の投票権に規約を変更
 区の自治に若い人も関心を持ってもらうために規約を変更された。
 みんなが意見を出せるようにしたいとのこと。
- ② 認知症サポーター養成講座の開催
 区役員や見守り活動をする住民で養成講座を受けたいとのことだったので、地域包括支援課につないだ。その後、区内での養成講座を実施された。
- ③ 区内の危険な樹木を処分
 伐採した木を薪として販売される市内業者を紹介したところ、連絡して相談を始められた。
- ④ 地区の活動について女性の意見を聞く
 ヒアリングの中で女性から意見を聞く機会を持つことを勧めていた。後日、女性会議を実施することを決められ、チラシづくり、会議の組み立て、当日のファシリテーションなどについて相談を受けた。感染症拡大防止のため次年度実施予定。

(2) まちづくり講演会「まちづくりは参加するからおもしろい！」
市民主体のまちづくりのために～高島市「住民自治協議会」説明会（同時開催）

区・自治会は主にシニア世代によって支えられているが、高島市が設立をめざす住民自治協議会によるまちづくりには、あらゆる世代の参加を高め、持続的な活動をめざす必要がある。まちづくりに参加する面白さ、多様な世代や価値観をまちづくりに受け入れる組織のあり方、市民の参加する力を呼び起こすヒントについて、大阪ボランティア協会 理事長 早瀬 昇氏から分かりやすく講演いただいた。また、高島市「住民自治協議会」に関する説明会を同時開催で行った。

開催日 7月12日(日)14:00～15:30

会場 今津東コミュニティセンター

講師 早瀬 昇氏（社会福祉法人大阪ボランティア協会 理事長）

参加者 63名

アンケート回答者 38名



参加者の76%が40～60歳代であり、地域自治協議会においても、まちづくりへ関心の高いこの世代が中心になると感じられた。



○参加者の声

- 心の中から意欲が湧いてくる3つ、よくわかりました。入口があって、すぐ出口もあって、目に見える中がわかれば、ボランティアに入りやすいということが分かった。
- 参加する人のやる気を起こすことの大切さ、できることから始める事の大切さが理解できた。
- ボランティアをするのはハードルが高いと思っていたが、自発的にしたいと思わせる仕掛けがあれば、参加しやすくなると思った。自身も、誰かに頼むときにも役立てられると思う。
- まちづくりに参加してもらい意見を言ってもらう、環境づくりが重要と感じた。

(3) 地域自治協議会準備会に関して

高島市における自治協議会の設立に向けて、まちづくりネット東近江を通じ、東近江市におけるまちづくり協議会の設立経緯などを設立当初および現担当者からヒアリングし、行政と中間支援センターの役割りについて意見交換した。

○東近江市まちづくり協議会に関するヒアリング

日時 5月26日(火)13:30~16:30

場所 まちづくりネット東近江

参加 (一社)八日市まちづくり公社 1名

東近江市まちづくり協働課 1名、湖東支所 1名

南部地区まちづくり協議会 1名、中野地区まちづくり協議会 1名

NPO法人まちづくりネット東近江 2名

高島市市民生活部 2名、市民協働課 1名

当センター 2名

内容

- ① 東近江市のまちづく協議会設立の経緯、市職員の関わり、現在の協議会の活動について
- ② まちづくり協議会設立までの準備
- ③ 質疑応答
 - ・地域の範囲は誰が決めたのか？
 - ・行政の担当職員制度について
 - ・財政支援について
 - ・まちづくり協議会の拠点について
- ④ まちづくり協議会現場からの声

○会議等への参加記録

9月28日	地域担当職員スキルアップ研修会	市役所
10月7日	地域共生社会の実現に向けた包括的体制整備のための庁内研修会	市役所
12月7日	第2回安曇川地域住民自治協議会設立準備会	安曇川公民館
12月16日	第2回今津地域住民自治協議会設立準備会	今津老人福祉センター
12月17日	第2回高島地域住民自治協議会設立準備会	高島支所
12月17日	第2回朽木地域住民自治協議会設立準備会	朽木支所
12月19日	第2回新旭地域住民自治協議会設立準備会	市役所
1月16日	第2回マキノ地域住民自治協議会設立準備会	マキノ支所
2月5日	第3回新旭地域住民自治協議会設立準備会	榑ホリゾン
2月12日	第3回朽木地域住民自治協議会設立準備会	朽木支所
2月12日	第3回安曇川地域住民自治協議会設立準備会	安曇川公民館
2月13日	第3回マキノ地域住民自治協議会設立準備会	土の学ぶ里研修センター
2月13日	第3回今津地域住民自治協議会設立準備会	今津東コミュニティセンター
3月11日	第4回新旭地域住民自治協議会設立準備会	市役所
3月12日	第4回高島地域住民自治協議会設立準備会	高島支所
3月12日	第4回安曇川地域住民自治協議会設立準備会	安曇川公民館
3月13日	第4回今津地域住民自治協議会設立準備会	今津上コミュニティセンター

6. 市民協働交流事業

<目標>

市民活動団体やボランティアグループのつながりづくり、市民と活動団体との出会いと参加の機会として、たかしま市民活動フェスタを11月に実施してきたが、感染症対策のため、例年通りの開催は難しく、以下の目標で事業を行った。

- 市民活動団体の活動状況や必要とされている支援を聞き取り、コロナ禍の中で必要とされている情報や支援を知る。
- 団体間で情報交換の機会を持つ。
- 直接会うことが制限される中で、団体にオンライン会議を体験する機会を提供する。
- 市民へ市民活動団体の活動を紹介する機会をつくる。

<成果>

感染症の状況を見ながら、市民活動団体へコロナ禍での活動状況などについて聞き取りを行った。限られた団体数だが、活動状況やニーズを知ることができ、ニーズに合ったテーマでお互いに情報交換していただくことができた。

また活動紹介動画の制作では高島高校 JRC 部の協力を得ながら、6団体の動画を作成し、公開することができた。

高島高校 JRC 部は、これまでも市民活動フェスタにおいて協力していただいていたが、感染症対策のため活動が制限されている中、市民活動団体の現場を知るよい機会になったとの感想をいただいた。団体の活動紹介動画作成は、次年度も継続していきたい。

(1) 団体ヒアリング

これまでの市民活動フェスタ参加団体など15団体に対し、以下の3点についてヒアリングを行った。

- コロナ禍での活動状況、活動上の工夫など
- 活動上の課題や必要な情報やサポート
- インターネットやWi-Fi環境

ヒアリング期間 9月9日～11月2日

ヒアリング団体 15団体

活動状況と必要な情報など

- 3月以降のイベントほぼ中止。子どもの防災力を高めるために、他団体と連携したい。
- 5月から集まりを持ち、通常の活動ができている。
- 7月から活動再開し、通常通り活動中。マスクを付けている人の表情や口の動きが読みにくく、聴覚障害者のストレスになっていることを知ってほしい。
- 6月から活動再開。利用人数を制限し、感染症対策しながらの活動
- 給食食材の配布など感染症対策をしながら実施した。体制をつくる前に動き始めているので、組織体制を整えたい。寄付、サポーターなどが必要。
- 6月から活動再開。コアメンバーが高齢化してきた。この場所を維持活用するために他の団体にも利用を呼びかけたい。大きな収入は見込めない事業なので継続の工夫が必要。
- 休校中は収入減。6月から学校再開で感染症対策をしながら通常活動。野菜の苗、工作の材料などの支援を求めている。

- ・感染症対策しながら活動継続。寄付、食品の寄付などを求めている。市内で学習や運動できる場所を探している。
- ・7月から活動再開。コーラス練習ができないので楽器などで練習。音楽をしているグループで一緒に何かできないか。
- ・6月から活動再開。少人数で野外なので工夫しながら活動継続。無理なく役割を担える人を増やしたい。など

(2) 情報交換会

上記のヒアリングで情報交換会への参加や Wi-Fi 環境について聞き取り、事前にオンラインのテストを行い、実施した。情報交換会の内容は、情報誌おむすび・たかしま 49 号、50 号に掲載した。

実施日 11月14日(土)14:00~16:00

参加数 9団体

(動画での活動紹介2団体)

内容 第1部 活動紹介

第2部 分科会

- ① 活動への参加者を増やすためにはどうしたらいい?
- ② 参加者を主体的に関わる人にするためにはどうしたらいい?
- ③ 寄付、寄贈などを集めるにはどうしたらいい?

全体共有

参加者の声

- ・自宅から参加できるのが便利でした。今後も使ってみたい。
- ・コロナ禍での情報交換や会議できる一つの方法を体験することができた。
- ・活動に役立つアイデアをいただけたので、取り組みたい。

(3) 活動紹介動画作成

市民に向けて、市民活動団体の活動紹介をする機会として、希望する団体とともに活動紹介動画を作成した。

大まかなシナリオを作成し、団体と一緒に内容を検討し取材、編集し、確認が取れた動画から公開を行った。

取材においては、高島高校 JRC 部の協力を得て、インタビュー、編集体験などをしていただいた。

作成団体数 6団体

作成期間 10月29日~11月14日

動画公開 たかしま市民協働交流センターホームページ

<http://tkkc.takashima-shiga.jp/movie.html>



7. 研修等参加記録

<目標>

- ・市民活動センター意見交換会は、世話人として企画などに参画し、他市のセンターとの情報交換、スキルアップをめざす。
- ・地域福祉推進計画策定委員会では、地域自治協議会と福祉分野との連携を意識して参加する。
- ・業務遂行に有効な研修やセミナーには積極的に参加する。

<成果>

感染症対策としてオンラインによる研修やセミナーが多くなり、有用な研修への参加機会が増えた。

社会的インパクト評価については、まちづくり推進会議など事業に活かしていきたい。

生涯活躍のまちアドバイザー研修は、他市の事例紹介などが多く、人口減少、高齢化が進む高島市においても紹介できる事例を多く知ることができた。

労働者協同組合法に関しては、2年後の施行に向けて相談対応などで説明できるよう注目していきたい。

(1) 研修参加記録

① 市民活動支援センター意見交換会

今年度は、世話人として淡海ネットワークセンター、まちづくりネット東近江、たかしま市民協働交流センターが企画、運営を行った。

第1回 9月4日 長浜まちづくりセンター

テーマ：市民活動団体の新型コロナウイルス感染症の影響について

第2回 10月30日 甲賀市まちづくり活動センターまるーむ

テーマ：法人設立相談において知っておくべきこと

第3回 3月3日 オンライン

テーマ：「NPO 法人せき・まちづくり NPO ぶうめらん」オンライン視察

② NPO と行政の対話を促進するための連続講座

主催：日本 NPO センター

基礎編 9月25日 オンライン

テーマ：NPO と行政の協働とは

実践編 10月2日 オンライン

テーマ：総合基本計画の策定プロセスにまなぶ市民協働

新型コロナウイルス特別編 10月16日 オンライン

テーマ「地方創生臨時交付金を題材に NPO と行政の協働を深める」

③ 高島市地域共生社会の実現に向けた包括的体制整備のための庁内研修会

～改正社会福祉法および重層的支援体制整備事業についての勉強会～

主催：高島市役所

10月7日 市役所

- ④ 社会的インパクト評価オンラインセミナー
 主催：淡海ネットワークセンター
 1月28日 「事業の価値を再発見する評価」入門編
 3月9日 受講者ヒアリング
 3月23日 「事業の価値を再発見する評価」入門編Ⅱ
- ⑤ 労働者協同組合法成立記念フォーラム in 滋賀
 主催：日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会
 2月10日 オンライン
- ⑥ 生涯活躍のまちアドバイザー研修
 主催：（一社）生涯活躍のまち推進協議会事務局
 2月16日～18日 オンライン

（2）外部委員会等参加記録

- ① 第三次地域福祉推進計画策定委員会
 第3回 7月31日 市役所
 第4回 12月4日 高島支所
 第5回 3月5日 市役所
- ② 第三次地域福祉推進計画策定委員会 小委員会【住民福祉協議会の推進】
 10月19日 新旭総合福祉センターやすらぎ荘
 1月19日 新旭総合福祉センターやすらぎ荘
- ③ 高島市地域生活つむぎあい会議
 第1回 7月9日 安曇川ふれあいセンター
 第2回 1月28日 市役所
- ④ 高島市社会福祉協議会・高島市共同募金委員会 助成金検討委員会
 第1回 10月5日 新旭総合福祉センターやすらぎ荘
 第2回 11月2日 新旭総合福祉センターやすらぎ荘
 第3回 11月27日 新旭総合福祉センターやすらぎ荘
 第4回 12月9日 新旭総合福祉センターやすらぎ荘

（3）その他

- 高島縁人コーディネーターに関する意見交換会
 主催：総合戦略課、有限会社とーく
 第1回 2月2日 wacca
 第2回 3月3日 wacca

8. 生活支援コーディネーター（第1層／市域）

<目標>

高島市内の生活支援や介護予防につながるサービスを、市民や市民活動団体および事業者が持続的に担う体制を整える目的で、市内の生活支援や介護予防サービスなどの地域資源を集約した。今年度の地域資源集約冊子「たかしまお役立ち情報」は、高齢者の社会参加の増加をめざし、高齢者が集う居場所、サークルやボランティア活動の紹介ページの充実をめざした。特に感染症対策をしながら工夫して活動を継続しているグループの発掘を行い、ウェブでの公開も行う。

生活支援に関わる事業者の交流会を企画し、相互の情報交換と連携の機会づくり、連携から新たなサービスが生まれることをめざした。

<成果>

「たかしまお役立ち情報」では、区・自治会の範囲で運営される「地域の居場所」、誰もが集まれる場所として「みんなの居場所」、高齢者の活発なサークル活動やボランティア活動事例などのページを掲載した。新型コロナウイルス感染症の影響で集まる事が制限される中、工夫や対策をして開催している団体や地域の取り組みも掲載した。配布先について、区・自治会の役員や民生委員児童委員などにも広げ、必要としている住民に近い所へ届けることができた。

交流会については、多様な事業者に趣旨を理解いただくことができ、参加に前向きになっていただけたが、参加者全体の日程が合わず延期することとした。

(1) 高島市生活支援コーディネーター定例会・高島市生活支援体制整備協議体会議

第1層および第2層の生活支援コーディネーターと地域包括支援課で毎月定例会を持ち、高島市の生活支援体制整備協議体の運営と研修や視察内容について検討した。

定例会前の打ち合わせ1 4月17日（金）13:30～15:30 高島市社会福祉協議会
令和2年度の計画について、役割分担について

定例会前の打ち合わせ2 5月11日（月）13:30～15:30 高島市社会福祉協議会
年間活動計画について

第1回定例会 6月9日（火）13:30～15:30 高島市社会福祉協議会
第1層、第2層の活動報告 今年度の方針について

第2回定例会 7月7日（火）14:30～16:30 高島市社会福祉協議会

第1層、第2層の活動報告 才川食品の移動販売について 地域サロンの再開について

第3回定例会 8月18日（火）14:30～16:30 高島市社会福祉協議会
第1層、第2層の活動報告 コロナの影響と活動について

第4回定例会 9月15日（火）10:00～12:00 高島市社会福祉協議会
第1層、第2層の活動報告 第1回協議体会議の進め方について

今津地域 第2層生活支援体制整備協議体会議

9月25日（金）19:30-21:00 今津東コミュニティセンター
ワーク 地域課題を題材にしたすごろく作り

高島地域 第2層生活支援体制整備協議体会議

9月29日(火) 13:30-15:00 高島保健センター

ワーク コロナ禍において活動を進めるには

第1回生活支援体制整備協議体会議 9月18日(金) 13:30-15:00 高島市市役所

意見交換 コロナ禍においての活動の変化

第5回定例会 10月22日(木) 13:30~15:30 高島市社会福祉協議会

お役立ち情報の内容、配布先について 第2層協議体会議について

第6回定例会 11月25日(水) 13:30~15:30 高島市社会福祉協議会

第1層、第2層活動報告 ボランティアを募集している団体について

第7回定例会 12月7日(月) 13:30~15:30 高島市社会福祉協議会

第1層、第2層活動報告 コロナ禍での工夫について

第8回定例会 1月7日(木) 10:00~12:00 高島市社会福祉協議会

第1層、第2層活動報告 お役立ち情報 地域の居場所の書き方について

朽木地域 第2層生活支援体制整備協議体会議

2月4日(木) 14:00-15:30 朽木やまびこ館

ワーク 課題の発見と専門職へのつなぎ

第9回定例会 2月9日(火) 10:00~12:00 高島市社会福祉協議会

第1層、第2層の活動報告 第2回協議体会議の進め方について

第2回生活支援体制整備協議体会議 2月22日(月) 13:30-15:30 高島市市役所

第1層、第2層活動報告

グループワーク コロナ時代 高島らしい社会参加やつながる方法

「どんな事を」「どんな場所で」「どんなふうに」

安曇川地域 第2層生活支援体制整備協議体会議

3月3日(水) 9:30-11:00 安曇川公民館

ワーク 課題の発見と専門職へのつなぎ

今津地域 第2層生活支援体制整備協議体会議

3月24日(水) 19:00-20:30 今津東コミュニティセンター

ワーク 話し合ってみたいテーマについて

第10回定例会 2月9日(火) 10:00~12:00 高島市社会福祉協議会

第1層、第2層の活動報告 お役立ち情報に掲載する住民福祉員活動コロナ禍での工夫

(2) 研修参加

<滋賀県生活支援コーディネーター研修>

滋賀県生活支援コーディネーター学習・情報交換会

12月11日(金) 13:30-16:30 県立長寿社会福祉センター

<外部研修>

実践編 総合計画の策定プロセスに学ぶ市民協働

10月2日(金) 10:00~12:00 今津東コミュニティセンター

<滋賀県我がまち地域包括ケアを考える研修会>

目指す姿の実現に向けた地域マーケティング～評価～

2月2日(火) 15:00-17:00 高島市役所

(3) 地域資源冊子「たかしまお役立ち情報」の発行

生活のお役立ち情報に加え、高齢になっても社会参加の機会が維持されることを目的に、「地域の居場所」、「みんなの居場所」、「元気高齢者のイキイキ活動」、「ボランティアグループ」のページを設けた。情報を集めるため、市内の居場所、サロン、主に高齢者の文化やスポーツサークルなどを訪問した。

生活のお役立ち情報に掲載する新たな事業者の発掘については、冊子への情報提供に関する依頼文を、高島市商工会の会員定期発送に、同封していただいた。



発行部数 1,500部

配布先 市地域包括支援課から関係機関へ

掲載事業者、掲載の居場所グループやサークルなど必要とされる市民

(4) Web上での見える化

ブログで取材先の基本情報や写真、またマップを随時更新しています。たくさんの人に見て利用してもらえよう、周知活動をしていきたい。



(4) 市域における事業者の生活支援に関する交流会(延期)

<目的>

高齢化が進む中、高齢者のひとり住まい世帯や高齢者夫婦の世帯が増えている。在宅生活を送る上では、公的なサービス以外にも住民同士の支え合いなどのサポートが必要とされている。生活支援体制整備事業では地域資源を活かし、高齢者の生活支援・介護予防サービス構築のためのコーディネートを行っている。今回、高齢者と関わりがあり、また高齢者の暮らしを支えている移動販売や買い物サービスを行っている市内の企業や事業所に集まっていただき、事業を通して高齢者の安心と持続可能な暮らしについて考えていただく機会を作る事を目的とした。

<成果>

昨年参加された事業者に加え、新たな事業者にも目的を説明し、趣旨を理解されたが参加の日程が合わず延期することとした。

日時 3月22日(月) 13:30~15:00

会場 今津東コミセン 中会議室

参加者 20名

<参加を呼びかけた団体・事業者>

・(株)才川食品・魚末・Aコープパネス・foodshopよしの・林忠酒食品店・福本商店・(株)平和堂・コープしが・(一社) めいどいんマキノ・JA 西びわこ農協・(公社) シルバー人材センター・NPO 法人元気な仲間 たすけあい高島・市社会福祉協議会 地域福祉課地域担当者・各地域住民福祉協議会メンバー・関心のある事業者や一般参加者

9. 「たかしまの森へ行こう！」～森と人がつながるプロジェクト～

<目標>

平成 27 年度から、高島市の森林資源の持続的な活用と、多面的機能について森林所有者・林業関係者・市民活動団体・消費者・行政など様々な利害関係者が互いに学び合いながら、ゆるやかなネットワークの形成を目指して活動を続けている。

昨年度から NPO 法人麻生里山センターと連携し、同法人が管理する森林公園くつきの森（以下、くつきの森）にて、森林調査（森のカルテづくり）と炭窯づくりを行ってきた。

- ・森林調査に関しては調査グループのリーダー育成をめざした。リーダーの育成により、参加者と調査か所を増やすことができるようになる。
 - ・炭窯づくりに関しては、炭窯の完成と炭焼き体験を行い、炭焼きに関心を持つ人材を増やすことをめざした。
 - ・継続的な炭焼きのために、現在の暮らしにおける炭の活用方法や販路に関する意見交換会を開催する。
 - ・炭焼きに関心を持つ市民と市内の炭焼きグループのネットワークづくりをめざし、炭焼きに関心を持つ市民と市内の炭焼きグループに呼びかけ、炭焼きに関する技術や炭を活用した地域おこしについての交流会を企画する。
- なお、昨年に引き続き未来ファンドおうみ「びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金」の助成を受け活動した。

<成果>

●市民による森林調査「森のカルテづくり」

くつきの森が高島市の新型コロナウイルス感染症対策の方針に基づき 4 月 1 日から 5 月 31 日まで休業になり、その後の感染状況を鑑みて実施回の削減や追加イベントなど、当初計画からは大きく見直すこととなった。5 回開催し 7 か所調査を行った。くつきの森スタッフのみで 9 か所調査され、全体では年間目標 20 か所に対して 16 か所の調査となった。

今年度は、調査頻度と参加者の増加を目的としたリーダー研修を計画していたが、前述の状況を受け、時期を変更して実施した。7 月 4 日、1990 年代からくつきの森にて森林調査を続けられている滋賀県立大学 環境科学部の籠谷泰行講師にお越しいたいて勉強会を開催した。勉強会では長年の調査で気づかれた森林の変化などについてお話しいただいた。

また、リーダー研修の実践の場として、くつきの森に 10 月 23 日・24 日に大阪教育大付属高校 1 年生計 120 名による森林調査実施の依頼があり、この機会を活用することにした。高校生のグループ活動に合わせプログラムの内容を見直し、調査会場の設定を行なうとともに、調査チームのリーダー研修を実施した。残念ながら高校側の事由により中止になったため、リーダー研修の実践はできなかった。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年度からのリピーターも含め参加者数が伸び悩んだ。プロジェクトとしての広報告知では、感染症拡大防止の観点から印刷チラシの作成と市内外への配布を取り止め、過去の参加者に個別に呼び掛けるなど限定的に実施せざるを得なかった。

●炭窯復活事業「くつきの森 炭がま復活プロジェクト」

炭窯づくりには、のべ49人が参加した。4月から5月にかけてのくつきの森の休業、その後の農繁期により作業の再開が8月になり、10月にかけて作業を実施。11月1日に炭窯完成。11月21日から22日にかけて炭焼き体験会(原木の搬入)、11月26日に火入れ、12月6日に炭窯を封鎖、1月8日に炭出し作業を行った。炭窯づくりでは、次世代への炭窯づくりの技術継承のため、図面や画像などの記録を残すことができた。炭焼き技術継承に向けては、11月に行った炭焼き体験会の作業手順を検証し、次年度にはスケジュール調整をしながら炭焼きの機会を作り、炭焼きグループ等からの助言を得ながら作業をすることで技術力を向上させ実績を重ねていきたい。

また、森林を持続的に利用する手段としての炭や炭焼きへの理解を深めるため「たかしまの森 炭の使いみちを考える会」と、「たかしま炭焼き交流会2021」を開催した。2月に実施した炭の使いみちを考える会では、炭の基本的な特徴について理解を深めた上で、炭の使い道や需要の喚起の方策について意見を出し合った。3月の炭焼き交流会では、大阪府能勢町で菊炭を生産する「合同会社 能勢さとやま創造館」の小谷 義隆氏から、炭焼きと森づくり、都市農村交流などの活動について講演いただき、その後、市内で炭焼きをしている3つのグループと炭や炭焼きに関心のある市民が、炭焼きに関する技術や販売先など継続に関して意見交換を行うことができた。

<運営協力組織>

NPO法人麻生里山センター/NPO 法人結びめ/巨木と水源の郷をまもる会/くつき木の駅プロジェクト/たかしま森林セラピー/結いの里・椋川/高島市森林組合/マキノ高原観光株式会社/(一社)安曇川流域・森と家づくりの会/近江通商株式会社/滋賀県西部・南部森林整備事務所/滋賀県琵琶湖環境科学センター/総合地球環境学研究所/高島市森林水産課

[1] 勉強会・イベント等の開催

(1) 市民による森林調査 ”くつきの森で森のカルテをつくろう!”

●…実施 追…追加 ×…中止

日時	内容	スタッフ	参加者	備考
4月18日 ×	・森林調査(1回目) ・リーダー研修会			森林公園くつきの森 休園のため中止
5月9日 ×	・森林調査(2回目)			森林公園くつきの森 休園のため中止
7月4日 ●	・森林調査(3回目) ・リーダー研修会	4	7	・滋賀県立大 籠谷先生による勉強会を実施 (くつきの森における森林調査結果の推移)
7月20日 追	・森林調査(追加回)	2	2	
9月12日 ●	・森林調査(4回目)	3	2	
9月27日 追	・高校生向け調査 リーダー研修	1	3	高校生向け森林調査プログラムの調査グループリーダー研修の実施
10月2日 追	・高校生向け調査 リーダー研修	1	2	高校生向け森林調査プログラムの調査グループリーダー研修の実施
10月23日 ×	・高校生向け調査			高校側からの要請により中止
10月24日 ×	・高校生向け調査			高校側からの要請により中止
11月14日 ●	・森林調査(5回目)	2	4	・参加者内に濃厚接触者発生
3月6日 ●	・今年度 報告会 ・森林調査(6回目)	3	4	

- 当プロジェクトとしては、7月に2回(予定回と追加回)、9月、11月、3月の計5回を実施した。
- 昨年度より参加者は減ったが、限られた人数で効率良く作業するノウハウを得られた。
- 参加者の世代・属性に合わせて調査プログラムの構成・調整が考えられるようになった。
- 森林調査はくつきの森、ひいては高島市域の森林の現状把握のために必須の作業である。今後もこの2年間の活動で得られたノウハウを活かしつつ、適宜参加者を募りながら継続していく。



(2) “くつきの森 炭がま復活プロジェクト”

本事業は、かつての朽木地域の主要産業であり、森林を持続的に利用する木炭生産に不可欠な「炭がま」を、くつきの森で地域内外の市民とともに蘇らせ、森林の持続的な活用と地域の活性化のきっかけとなることを期待して企画した。また、地元に残る炭がまの建築手法の確認と継承への貢献も視野に入れている。

新型コロナウイルス感染症対応で社会情勢が厳しい中、関係者とスケジュールを調整しな

から、昨年度から引き続いての炭窯の造営作業と炭焼きの実施、および昨年度実施できなかった炭の活用ワークショップと炭焼き交流会を開催することができた。

●…実施 追…追加 変…変更

日時	内容	スタッフ	参加者	備考
8月2日～	変・炭がま、小屋の設営作業	2～5	0	スタッフのみで断続的に実施
8月9日 ・10日	変・炭がま 窯打ち	4	6	参加者は延べ人数
8月23日	変・炭がま 小屋 棟上げ	3	15	
10月31日・ 11月1日	追・炭がま 火入れ	6	13	参加者は延べ人数
11月21 日・22日	●・炭焼き体験会	6	11	参加者は延べ人数
11月26日	変・炭焼き 開始	3	0	スタッフのみで実施
12月6日	変・炭がま 封鎖	2	0	スタッフのみで実施
1月8日	変・窯出し	4	5	
2月21日	●・炭の活用ワークショップ	4	13	
3月21日	●・炭焼き交流会	14	11	

【炭がま復活プロジェクト】

- くつきの森の休業と農繁期のため、作業再開は8月からとなった。8月8日・9日に窯打ち、その後小屋掛け作業に着手。8月23日に棟上げを開催した。
- 10月31日～11月1日に炭がま内部の火入れを実施し、炭がまが完成した。
- 炭焼き体験会では原木のサイズが炭窯に対して大きすぎたため、切りそろえるための作業が発生した。そのため、体験会の予定時間内では炭焼きに着手できず、後日(11月26日)の実施となった。12月6日に窯を封じ、1月8日に窯出しを実施。
- 炭焼きの進捗に合わせ、炭の活用ワークショップは日程を12月開催予定から2月21日に変更した。

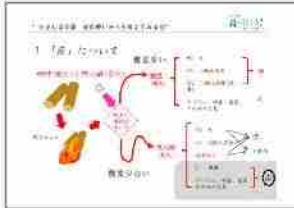


【炭の活用ワークショップ（「たかしまの森 炭の使いみちを考えてみる会」として開催）】

- 2月21日(日)に開催。

参加者：13名。

- 炭に関する勉強会と炭に広く関心を持っていただくためのアイデア出しなどを行った。
- 炭の用途に関するアイデアの他、生産側だけでなく、暮らしに炭を使う消費側の文化醸成や、炭の量と質の確保のため炭焼きグループのネットワーク化の必要性が提起された。



今後も、このようなワークショップを開催することで、炭や炭焼きへの興味・関心を広く喚起し、たかしまの森林に注目する市民が増えるきっかけにできれば良いと考える。

【たかしま炭焼き交流会 2021】

- 3月21日に開催。

参加者：高島市内炭焼きグループ、市民参加者 計 14名。

- 市内炭焼きグループの活動紹介

「国境炭焼きオヤジの会(マキノ町)」「椋川炭焼きグループ(今津町)」「まるくもくらぶ(朽木・雲洞谷)」、くつきの森の炭がまと炭焼き作業の紹介

- 大阪・能勢町「合同会社 能勢さとやま創造館」の小谷 義隆氏による講演、および質疑応答・意見交換

(※ 昨年参加を呼びかけていた方々に参加していただきました)

- 各地の炭焼きグループの経緯や特色、課題について理解を深められた。
- 日本の茶道とともに歴史を刻んできた能勢菊炭の歴史と、そのために続けられている努力について知ることができた。
- 各地の炭焼きが、それぞれの風土と密接に関連しながら続いてきた文化であることが分かった。
- 炭窯の構造、炭原木の窯内の置き方・詰め方など、炭焼き技術に関する意見交換も活発に行われた。



市内(外も含めた)各地の炭焼きグループ間で連携を深めていく枠組みとして、市民が炭や炭焼きに関心を持ち、後世への技術継承につながるきっかけづくりの場として、炭焼き交流会は今後も継続していきたい。



[2] 情報発信

(1) ネットへの情報発信

前年度に引き続き「たかしまの森へ行こう！」サイトのブログ機能を活用し、イベントの告知・報告と、たかしま市民協働交流センターのブログや森林公園くつきの森のイベント情報ブログとの連携に努めた。

イベント告知	15 記事
イベントレポート	11 記事
スタッフ所感等	2 記事
イベント中止	3 記事

(2) ユリノキまつりへの出展

5月に予定されていたユリノキまつりはくつきの森の休業のため中止となった。

次年度についても、ユリノキまつり自体は従来の形式では実施しないことが決まっている。森林公園くつきの森と連携して、当プロジェクトのPRの方法を検討していきたい。

[3] 運営会議・打ち合わせ等

月日 *は Zoom 会議	回	参加者	議題
4/8*	第1回	4	①事業 状況確認 (炭がま、森のカルテづくり、ユリノキまつり) ②今後の予定について
6/8*	第2回	6	①事業 状況確認 (炭がま、森のカルテづくり) ②今後の予定について
7/3*	第3回	5	①事業 状況確認 (炭がま、森のカルテづくり) ②今後の予定について
8/27*	第4回	6	①事業 状況確認 (炭がま、森のカルテづくり) ②今後の予定について - 高校生による森のカルテづくり (10/23、24)
9/29*	第5回	5	①事業 状況確認 (炭がま、森のカルテづくり) ②今後の予定について - 高校生による森のカルテづくり (10/23、24) ③来年度 事業について
11/4*	第6回	4	①事業 状況確認 (炭がま、森のカルテづくり) ②今後の予定について - 炭の使い道 W/S、炭焼き交流会

			③来年度 事業について
12/11*	第7回	4	①事業 状況確認 (炭がま、森のカルテづくり) ②今後の予定について - 炭の使い道 W/S、炭焼き交流会 ③来年度 事業について
1/8	第8回	7	①炭窯 炭出し ②事業 状況確認 (炭がま、森のカルテづくり、炭の使いみちを考 えてみる会、炭焼き交流会)
2/12*	第9回*	6	①事業 状況確認 (炭の使いみちを考えてみる会、炭焼き交流会、炭 がま、森のカルテづくり) ②来年度 事業について (夏原 Grant への助成金申請)
3/5*	第10回	5	①事業 状況確認 (炭の使いみちを考えてみる会、炭焼き交流会、炭 がま、森のカルテづくり) ②来年度 事業について (夏原 Grant への助成金申請)

運営会議では、Zoom を活用した。参加場所は今津東コミュニティセンター、森林公園くつきの森、および自宅等からのリモート参加。第8回については、炭出しを行なうため、くつきの森で実施した。次年度もこの形式を継続し、メンバー間のコミュニケーションが円滑かつ柔軟に行われるようにつとめたい。

Ⅲ. 今津東コミュニティセンター

令和2年度 今津東コミュニティセンター施設利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年 1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
和室1	団体数	1	2	4	6	8	18	10	9	13	4	16	11	102	66	36
	人数	15	31	56	72	54	178	148	193	153	20	152	114	1,186	1,288	-102
和室2	団体数	5	6	15	10	10	18	14	15	13	5	15	12	138	78	60
	人数	30	42	111	90	90	181	153	195	141	31	140	118	1,322	488	834
調理実習室	団体数	1	2	5	4	6	5	4	3	6	0	2	5	43	82	-39
	人数	15	31	54	58	69	69	53	49	94	0	30	63	585	808	-223
中会議室	団体数	5	0	11	13	11	20	18	20	16	12	16	19	161	60	101
	人数	51	0	104	134	126	203	309	286	205	150	237	237	2,042	501	1,541
小会議室1	団体数	7	3	20	11	12	18	14	15	19	16	26	30	191	122	69
	人数	25	21	119	68	60	100	137	169	110	138	154	122	1,223	977	246
小会議室2	団体数	19	4	29	25	18	28	33	33	33	29	34	36	321	18	303
	人数	80	19	133	121	112	138	235	291	171	145	170	193	1,808	311	1,497
大ホール	団体数	2	0	12	20	16	23	22	24	20	15	18	21	193	82	111
	人数	11	0	207	427	367	524	380	542	249	400	423	381	3,911	2,675	1,236
1F展示・ロビー	人数	240	109	426	424	447	517	428	688	405	359	777	759	5,579	1,687	3,892
合計	団体数	40	17	96	89	81	130	115	119	120	81	127	134	1,149	508	641
	人数	467	253	1,210	1,394	1,325	1,910	1,843	2,413	1,528	1,243	2,083	1,987	17,656	8,735	8,921
前年度	団体数	128	148	164	0	0	0	0	0	0	0	0	68	508		
	人数	1,521	2,141	3,919	0	0	0	0	0	0	0	0	1,154	8,735		
前年比	団体数	-88	-131	-68	89	81	130	115	119	120	81	127	66	641		
	人数	-1,054	-1,888	-2,709	1,394	1,325	1,910	1,843	2,413	1,528	1,243	2,083	833	8,921		

※ 令和元年7月～2年2月まで施設改修工事のため休館、また、令和3年4月20日～5月16日まで新型コロナウイルス感染症対策のため休館。

2. ロビー展示他

(1) ロビー展示利用促進

展示希望団体の募集を行い、展示ホールをさまざまな団体の展示で活用し、展示団体と来場者の交流を促進した。

①デジタルカメラ勉強会	3月22日～4月3日
②湖西水墨画会	6月1日～6日
③今津押し花クラブ	6月19日～30日
④水彩画サークル彩琶	7月1日～14日
⑤原爆パネル展	8月6日～16日
⑥街中美化運動はなのみち活動報告	9月1日～30日
⑦デジタルカメラ勉強会	10月3日～19日
⑧今津押し花サークル	11月12日～18日
⑨木目込み人形作品展	11月21日～12月6日
⑩健康川柳展示会	12月7日～11日
⑪高島模型クラブ	12月12日～13日
⑫高島市障がい者相談支援センターコンパス	12月17日～24日
⑬江若鉄道近江今津駅舎の思い出展	2021年1月16日～2月14日
⑭ユニーク川柳作品展	2月8日～19日
⑮湖西フォトクラブ	2月20日～28日
⑯あけぼの墨絵	3月1日～11日
⑰湖西蘭友会	3月13日～14日
⑱滋賀美育懇話会	3月19日～24日
⑳デジタルカメラ勉強会	3月26日～4月10日

(2) 情報発信について

①HP および SNS による情報発信

インターネット上での情報発信として、東コミセンの HP で開催情報と報告を掲載した。同時に、フェイスブック、ツイッターページでHP の記事をシェアした。

②東コミセンだより（4月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、12月 1月、2月、3月：11回発行）

東コミセンおよび協働交流センターからのお知らせや自主事業の広報、館内の催し物、ロビー展示会情報、利用団体紹介等を壁新聞形式で各部屋に掲示した。また市内公共施設にも送付した。

3. 今津東コミュニティセンター自主事業報告

事業名	日程	参加者	内容
認知症サポーター養成講座	7/5	7	認知症の特性や種類、認知症の人への接し方など基本的なことについて学ぶ機会を提供。
広域避難所運営体験	6/28	17	災害時に避難所を運営する体験として、中浜区、北浜区の方々と一緒に意識共有・課題共有した。
シニアのための初めてのスマートフォン講座	7/14 10/13	12 12	講師にNPO法人湖南ネットしがを招き、60歳以上を対象に、練習機を使ってスマートフォンの基本的な操作方法やグーグルマップ、ラインなどの使い方について学ぶ機会を提供した。
シニアのための簡単スマホ相談会	2/8	5	60歳以上を対象に事前にスマホの使い方について困っていること・知りたいことを聞き、参加者のスマホを使ってスタッフが個別に相談に応じた。
交通安全教室	2/25	16	高島警察交通課から講師を招き、シニアの方を対象に、交通安全について学ぶ機会とした。
まちづくりのための資金を学ぼう	3/17	11	まちづくりや市民活動、ボランティア活動に必要な資金についての基礎とクラウドファンディングについて、仕組みや事例を学ぶ機会を提供した。
みんなのほんだな	4月～ 3月	-	東コミセン1階ロビーの利用促進を目的に、みんなでシェアする本の物々交換所「みんなのほんだな 東コミセン」を設置し、本による市民の交流の機会を提供した。

写真

認知症サポーター養成講座



中浜区・北浜区広域避難所運営体験



シニアのためのはじめてのスマホ講座



シニアのための簡単スマホ相談会



ロビー展示（木目込み人形）



まちづくりの資金を学ぼう



2020年度活動計算書

2020年 4月 1日 ～ 2021年 3月 31日 まで

特定非営利活動法人コミュニティねっとわーく高島

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	42,000	
賛助会員受取会費	4,000	46,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	2,583,073	2,583,073
3. 受取助成金		
未来ファンドおうみ助成金	160,000	
滋賀県新しい生活・産業様式確立支援事業助成金	100,000	260,000
4. 事業収益		
たかしま市民協働交流受託事業収益	7,709,048	
生活支援コーディネータ受託事業収益	2,313,300	
市漁連パンフ作成業務にかかる受託事業収益	119,900	
今津東コミセン指定管理事業収益	12,566,000	22,708,248
5. その他収益		
利用料収益	1,332,140	
事業収入	117,674	
負担金収益	124,500	
自販機設置手数料収益	37,428	
受取利息	70	
雑収益	49,149	1,660,961
経常収益計		27,258,282
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	12,284,170	
法定福利費	1,160,382	
人件費計	13,444,552	
(2) その他経費		
事業費	105,833	
私有車借上料	94,828	
印刷製本費	800,064	
会議費	0	
旅費交通費	36,100	
通信運搬費	249,998	
消耗品費	2,003,770	
修繕費	49,895	
水道光熱費	2,603,572	
新聞図書費	68,128	
諸謝金	106,706	
支払手数料	64,574	
燃料費	21,525	
賃借料	645,567	
保険料	26,870	
租税公課	0	
研修費	19,800	
委託費	2,634,820	
雑費	34,580	
修繕引当金繰入	600,000	
その他経費計	10,166,630	
事業費計		23,611,182
2. 管理費		

(1)人件費			
給料手当	0		
法定福利費	0		
人件費計	0		
(2)その他経費			
会議費	2,149		
通信運搬費	7,490		
消耗品費	3,655		
諸謝金	53,750		
支払手数料	42,750		
賃借料	6,000		
租税公課	72,200		
その他経費計	187,994		
管理費計		187,994	
経常費用計			23,799,176
当期正味財産増減額			3,459,106
前期繰越正味財産額			0
次期繰越正味財産額			3,459,106

2020年度貸借対照表

2021年 3月 31日現在

特定非営利活動法人コミュニティねっとわーく高島

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	6,148,343		
修繕引当用預金	400,068		
未収入金	532,235		
会計間仮払金	500,000		
流動資産合計		7,580,646	
資産合計			7,580,646
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,195,900		
預り金	25,640		
修繕引当金	400,000		
会計間仮受金	500,000		
流動負債合計		4,121,540	
負債合計			4,121,540
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		0	
当期正味財産増減額		3,459,106	
正味財産合計			3,459,106
負債及び正味財産合計			7,580,646

財産目録

2021年 3月 31日現在

特定非営利活動法人コミュニティネットワーク高島

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	239,075		
滋賀銀行 今津支店	1,196,754		
滋賀銀行 今津支店	568,261		
滋賀銀行 今津支店	4,144,253		
修繕引当用預金			
滋賀銀行 今津支店	400,068		
未収入金			
高島市	313,300		
会計間(社・労)	103,453		
その他	115,482		
会計間仮払金	500,000		
流動資産合計		7,580,646	
資産合計			7,580,646
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
3月分給料	119,472		
3月分社会保険料	162,085		
労働保険料	84,909		
関西電力(株)	208,852		
(有)ハヤシ	1,358,365		
(株)プリントパック	75,680		
(株)橋田舞台設備	198,000		
三菱電機ビルテクノサービス(株)	63,800		
(有)エーエヌエヌエイチ	99,000		
修繕引当	600,000		
その他	225,737		
預り金			
源泉所得税	25,640		
修繕引当金	400,000		
会計間仮受金	500,000		
流動負債合計		4,121,540	
負債合計			4,121,540
正味財産			3,459,106